

令和8年8月13日

訓子府町長 伊 田 彰 様
訓子府町教育委員会教育長 高 橋 治 様
訓子府町農業委員会会長 林 浩 幸 様

訓子府町監査委員 平 塚 晴 康

訓子府町監査委員 村 口 鉄 哉

令和7年度訓子府町各会計決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された令和7年度訓子府町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の審査意見書を別紙のとおり提出します。

令和7年度 訓子府町各会計歳入歳出決算審査意見書

第1 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 令和7年度 訓子府町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和7年度 訓子府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和7年度 訓子府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和7年度 訓子府町介護保険特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和8年7月28日・29日・30日（3日間）

3. 審査の方法

審査に付された令和7年度各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、法令に基づいて作成されているかどうかを確認しました。

また、計数を検証するため関係書類等の照合のほか事務事業執行状況について、担当職員の説明を受け、定期監査、例月出納検査等の結果を参考とし、予算執行、行財政運営が適正に行われたかについて審査を行いました。

4. 審査の結果と意見

令和7年度訓子府町一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計の決算について、各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書については、関係法令に準拠して作成されており、その計数は適正であると認めます。

しかし、事務担当者からの聴取並びに関係書類等の確認の結果、一部事務執行に是正又は改善を要するものが見られましたので、実効性のある再発防止策を講じるとともに、適正な事務処理を一層徹底する必要があります。

以上、審査の結果を述べましたが、本町の財政状況については、決算収支や各種指標から健全な状態にあると認められますが、物価高騰は依然として続いており、物件費や投資的経費に加え、人件費、扶助費などの経常的な支出の増加傾向が続く中で、歳入の大幅な伸びは見込めず、引き続き厳しい財政状況が見込まれます。

今後とも町民が安心して暮らせる町であり続けるため、持続可能な財政基盤の確立に努められることを望みます。

第2 決算の概要

1. 各会計決算状況

1) 令和7年度各会計決算状況

(単位：円、%)

会計名	歳入総額 (収入済額) A	歳出総額 (支出済額) B	差引額 A－B	内基金繰入額	前年度対比	
					歳入	歳出
一般会計	5,637,475,881	5,440,885,595	196,590,286	100,000,000	102.1	101.9
国民健康保険会計	854,865,699	850,915,874	3,949,825	3,949,000	95.9	95.4
後期高齢者医療会計	128,649,164	128,649,164	0	0	113.8	113.9
介護保険会計	658,989,548	645,378,373	13,611,175	0	102.1	103.8
計	7,279,980,292	7,065,829,006	214,151,286	103,949,000	101.5	101.4

上記のとおり各会計の歳入歳出合計の差引額214,151,286円のうち、地方自治法第233条の2及び訓子府町財政調整基金条例による基金への繰入額は103,949,000円であり、残額の110,202,286円(内一般会計繰越明許費繰越額3,776,000円)を翌年度へ繰り越ししています。

2) 前年度(令和6年度)の各会計決算状況(参考)

(単位：円、%)

会計名	歳入総額 (収入済額) A	歳出総額 (支出済額) B	差引額 A－B	内基金繰入額	前年度対比	
					歳入	歳出
一般会計	5,522,287,372	5,341,324,603	180,962,769	90,000,000	106.3	106.8
国民健康保険会計	891,819,283	891,813,009	6,274	6,000	109.5	109.6
後期高齢者医療会計	113,065,359	112,989,159	76,200	0	110.9	110.8
介護保険会計	645,225,716	621,755,960	23,469,756	0	100.1	102.2
計	7,172,397,730	6,967,882,731	204,514,999	90,006,000	102.2	102.9

2. 財政指数の推移

一般会計の財政運営の状況を分析する指標である経常収支比率、財政力指数の3か年の推移は、次表①・②のとおりです。

① 経常収支比率の推移 (単位：％)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
75.3	75.8	76.2

② 財政力指数 (3か年平均)

令和5年度 (R3～R5)	令和6年度 (R4～R6)	令和7年度 (R5～R7)
0.22	0.22	0.22

3. 令和7年度一般会計歳入歳出決算状況

一般会計決算は下表に示すとおりで、歳入5,637,475,881円に対して歳出5,440,885,595円、歳入歳出差引額196,590,286円となり、このうち100,000,000円を基金積立とし、96,590,286円を翌年度へ繰り越ししています。

【歳入】

(単位：円、％)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較	収入率	
						予算対比	調定対比
5,603,588,000	5,675,676,144	5,637,475,881	524,034	37,676,229	33,887,881	100.6	99.3

【歳出】

(単位：円、％)

予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額 (繰越明許費)	不用額	予算現額に対する 不用額割合	歳入歳出差引額
5,603,588,000	5,440,885,595	97.1	12,879,000	149,823,405	2.7	196,590,286

令和 7 年度特別会計歳入歳出決算状況

(1) 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計決算は下表に示すとおりで、歳入854,865,699円に対して歳出850,915,874円、歳入歳出差引額3,949,825円となり、このうち3,949,000円を基金積立とし、825円を翌年度へ繰り越ししています。

【歳 入】

(単位：円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較	収入率	
						予算対比	調定対比
885,856,000	862,785,047	854,865,699	90,700	7,828,648	△ 30,990,301	96.5	99.1

【歳 出】

(単位：円、%)

予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額 (繰越明許費含む)	不用額	予算現額に 対 する 不用額割合	歳入歳出 差 引 額
885,856,000	850,915,874	96.1	0	34,940,126	3.9	3,949,825

(2) 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計決算は下表に示すとおりで、歳入128,649,164円に対して歳出128,649,164円、歳入歳出差引額0円となっています。

【歳 入】

(単位：円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較	収入率	
						予算対比	調定対比
130,101,000	128,590,964	128,649,164	0	△ 58,200	△ 1,451,836	98.9	100.0

【歳 出】

(単位：円、%)

予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額 (繰越明許費含む)	不用額	予算現額に 対 する 不用額割合	歳入歳出 差 引 額
130,101,000	128,649,164	98.9	0	1,451,836	1.1	0

(3) 介護保険特別会計

介護保険特別会計決算は下表に示すとおりで、歳入658,989,548円に対して歳出645,378,373円、歳入歳出差引額13,611,175円となり、同額を翌年度へ繰り越ししています。

【歳 入】

(単位：円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較	収入率	
						予算対比	調定対比
663,418,000	659,150,248	658,989,548	200	160,500	△ 4,428,452	99.3	100.0

【歳 出】

(単位：円、%)

予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額 (繰越明許費含む)	不用額	予算現額に 対 す る 不用額割合	歳入歳出 差 引 額
663,418,000	645,378,373	97.3	0	18,039,627	2.7	13,611,175

令和8年8月13日

訓子府町長 伊 田 彰 様

訓子府町監査委員 平 塚 晴 康

訓子府町監査委員 村 口 鉄 哉

令和7年度訓子府町水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和7年度訓子府町水道事業会計に関する決算について、別紙のとおり審査意見書を提出します。

令和 7 年度 訓子府町水道事業会計決算審査意見書

第 1 審査の概要

1. 審査の対象 令和 7 年度訓子府町水道事業会計決算
2. 審査の期間 令和 8 年 7 月 2 9 日
3. 審査の方法 地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により提出された次の書類の点検を行うとともに担当課長等の説明を受け、計数の突合・確認を行い、予算執行状況、事業運営について審査を行いました。

記

- (1) 決算報告書
- (2) 損益計算書
- (3) 剰余金計算書
- (4) 剰余金処分計算書（案）
- (5) 貸借対照表
- (6) 付属書類
 - ア) 事業報告書
 - イ) キャッシュ・フロー計算書
 - ウ) 収益費用明細書
 - エ) 固定資産明細書
 - オ) 企業債明細書

4. 審査の結果と意見

審査した決算に係る財務諸表は関係法令に準拠して作成されており、計数はいずれも正確に計上され、事業の執行、運営状況を含め適正であると認めます。

第 2 水道事業の概要

1. 予算の執行状況

① 収益的収支の状況

(単位：円、%)

収入決算額			支出決算額			収入支出 差 引 額
予算現額	収入済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率	
187, 149, 000	176, 040, 926	94. 1	169, 487, 000	162, 664, 181	96. 0	13, 376, 745

② 資本的収支の状況

(単位：円、%)

収入決算額			支出決算額			収入支出 差 引 額
予算現額	収入済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率	
268, 692, 000	254, 619, 680	94. 8	303, 758, 000	289, 549, 146	95. 3	△ 34, 929, 466

2. 経 営 状 況

① 事業の概要

本年度末における給水件数は、対前年度比 8 件増の1,932件、給水人口は、対前年度比17人減の4,252人であり、普及率については、対前年度比0.4%増の97.1%となっています。

年間有収水量については、対前年度比3,327m³減の564,900m³、年間総配水量は、対前年度比9,431m³増の861,629m³、有収率は、1.12%減の65.56%となっています。

建設工事では、大谷導水管更新工事を実施し、改良事業では、水道施設の機能改善工事を実施し、常盤給水施設加圧ポンプ室の建設を行いました。

その他、水道ビジョンにも掲げている老朽管更新工事で南 5 線、総延長564.19mの更新を実施しました。

財政状況については、収益的収入（消費税及び地方消費税を除く）は給水収益と営業外収益、そのほかの収益、特別利益を合わせた163,254,338円（対前年度比4,629,940円の増）、収益的支出（消費税及び地方消費税を除く）は営業費用と営業外費用を合わせた155,966,678円（対前年度比45,035,446円の減）となり、7,287,660円の純利益となっています。

また、資本的収入は、254,619,680円（対前年度8,955,548円の増）に対して、資本的支出は、289,549,146円（対前年度8,792,123円の増）となり、資本的収入に対して不足する額34,929,466円は、過年度分損益勘定留保資金19,705,680円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額15,223,786円で補填しています。

② 損益計算書

(消費税抜金額、単位：円、%)

科 目	令和 7 年度			令和 6 年度
	金 額	対前年度比	対前年度差引額	金 額
営業収益	130,539,210	99.6	△ 551,728	131,090,938
給水収益	127,522,146	99.5	△ 677,552	128,199,698
その他営業収益	3,017,064	104.4	125,824	2,891,240
営業費用	144,991,610	75.3	△ 47,519,367	192,510,977
原水及び浄水費	15,406,925	102.0	300,895	15,106,030
配水及び給水費	20,746,404	26.3	△ 58,151,101	78,897,505
総係費	63,806,264	111.7	6,683,606	57,122,658
減価償却費	40,248,571	104.4	1,685,752	38,562,819
資産減耗費	4,783,446	169.5	1,961,481	2,821,965
営業利益	0	0.0	0	0
営業損失	14,452,400	23.5	△ 46,967,639	61,420,039
営業外収益 (A)	32,714,128	118.8	5,181,668	27,532,460
受取利息	971,105	374.4	711,713	259,392
他会計補助金	15,748,544	111.0	1,554,302	14,194,242
長期前受金戻入	15,484,767	127.2	3,308,745	12,176,022
雑収益	509,712	56.5	△ 393,092	902,804
営業外費用 (B)	10,975,068	129.3	2,483,921	8,491,147
支払利息	10,727,971	130.5	2,505,885	8,222,086
雑支出	247,097	91.8	△ 21,964	269,061
(A) - (B)	21,739,060	114.2	2,697,747	19,041,313
経常利益	7,286,660	0.0	7,286,660	0
経常損失	0	0.0	△ 42,378,726	42,378,726
特別利益	1,000	100.0	0	1,000
その他特別利益	1,000	100.0	0	1,000
特別損失	0	0.0	0	0
その他特別損失	0	0.0	0	0
当年度純利益	7,287,660	0.0	7,287,660	0
当年度純損失	0	0.0	△ 42,377,726	42,377,726

令和8年8月13日

訓子府町長 伊 田 彰 様

訓子府町監査委員 平 塚 晴 康

訓子府町監査委員 村 口 鉄 哉

令和7年度訓子府町下水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和7年度訓子府町下水道事業会計に関する決算について、別紙のとおり審査意見書を提出します。

令和7年度 訓子府町下水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1. 審査の対象 令和7年度訓子府町下水道事業会計決算

2. 審査の期間 令和8年7月29日

3. 審査の方法 地方公営企業法第30条第2項の規定により提出された次の書類の点検を行うとともに担当課長等の説明を受け、計数の突合・確認を行い、予算執行状況、事業運営について審査を行いました。

記

- (1) 決算報告書
- (2) 損益計算書
- (3) 剰余金計算書
- (4) 剰余金処分計算書（案）
- (5) 貸借対照表
- (6) 付属書類
 - ア) 事業報告書
 - イ) キャッシュ・フロー計算書
 - ウ) 収益費用明細書
 - エ) 固定資産明細書
 - オ) 企業債明細書

4. 審査の結果と意見

審査した決算に係る財務諸表は関係法令に準拠して作成されており、計数はいずれも正確に計上され、事業の執行、運営状況を含め適正であると認めます。

第2 下水道事業の概要

1. 予算の執行状況

① 収益的収支の状況

(単位：円、%)

収入決算額			支出決算額			収入支出 差引額
予算現額	収入済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率	
293,045,000	293,855,479	100.3	269,763,000	264,171,251	97.9	29,684,228

② 資本的収支の状況

(単位：円、%)

収入決算額			支出決算額			収入支出 差引額
予算現額	収入済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率	
4,200,000	4,200,000	100.0	81,910,000	81,037,622	98.9	△ 76,837,622

2. 経 営 状 況

① 事業の概要

本年度末における処理件数は、対前年度比4件減の1,648件、処理区域内人口は、対前年度比33人減の4,381人、水洗化人口は、対前年度比9人増の3,814人で、普及率は、対前年度比0.9%増の87.1%となっています。

建設工事は、区域整備に係る新築整備工事はありませんでした。改良工事では、改築に伴う公共汚水柵設置工事を1箇所新設しました。また、修繕では末広地区排水処理センター、日出地区排水処理センターで故障に伴うブロワー交換を各1基ずつ実施しました。

財政状況については、収益的収入（消費税及び地方消費税を除く）は、下水道収益、その他営業収益と営業外収益を合わせた287,988,248円、収益的支出（消費税及び地方消費税を除く）は営業費用と営業外費用を合わせた261,311,721円となり、26,676,527円の純利益となっています。

また、資本的収入は、4,200,000円に対して、資本的支出は81,037,622円となり、資本的収入に対して不足する額76,837,622円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額926,001円、損益勘定留保資金55,420,479円、当期利益剰余金処分額20,491,142円で補填しています。

② 損益計算書

(消費税抜金額、単位：円、％)

科 目	令和 7 年度			令和 6 年度
	金 額	対前年度比	対前年度差引額	金 額
営業収益	58,707,436	100.1	82,540	58,624,896
下水道使用料	58,673,036	100.1	84,540	58,588,496
その他営業収益	34,400	94.5	△ 2,000	36,400
営業費用	248,903,909	106.5	15,168,033	233,735,876
管渠費	1,158,642	102.7	30,259	1,128,383
処理場費	64,738,905	112.1	6,978,755	57,760,150
個別排水処理施設費	19,518,950	103.4	645,584	18,873,366
総係費	25,322,866	132.0	6,135,006	19,187,860
減価償却費	137,877,244	100.8	1,091,127	136,786,117
資産減耗費	287,302	0.0	287,302	0
営業利益	—	—	—	—
営業損失	190,196,473	108.6	15,085,493	175,110,980
営業外収益 (A)	229,280,812	111.0	22,808,189	206,472,623
受取利息	87,570	395.8	65,445	22,125
他会計補助金	139,431,000	112.4	15,327,000	124,104,000
補助金	7,018,000	0.0	7,018,000	0
長期前受金戻入	82,744,067	100.5	397,574	82,346,493
雑収益	175	3,500.0	170	5
営業外費用 (B)	12,407,812	117.0	1,801,348	10,606,464
支払利息	5,185,220	97.9	△ 109,563	5,294,783
雑支出	7,222,592	136.0	1,910,911	5,311,681
(A) － (B)	216,873,000	110.7	21,006,841	195,866,159
経常利益	26,676,527	128.5	5,921,348	20,755,179
経常損失	—	—	—	—
特別利益	0	0.0	△ 1,178,966	1,178,966
その他特別利益	0	0.0	△ 1,178,966	1,178,966
特別損失	0	0.0	△ 574,082	574,082
その他特別損失	0	0.0	△ 574,082	574,082
当年度純利益	26,676,527	124.9	5,316,464	21,360,063
当年度純損失	—	—	—	—